

事務事業評価シート

事業種別	継続	補助	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称
事業名	925	遠距離通学バス利用事業	会計	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
施策	11	教育環境の整備	項	03	中学校費
			目	01	学校管理費
			細目	101	学校管理経費
			細々目	04	遠距離通学バス使用料
基本計画該当頁	128	担当部課	コード	450300	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号		名称		学校教育課	加納圭子
					連絡先
					22 - 9677 (内線) 3821

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	桃青中学校(諏訪地区)の生徒及びその保護者 (対象件数 23人)	通学の安全が保障され、保護者の負担が軽減される。
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	1. 通学のための乗り合いバス使用料の保障	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	( )
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
補助対象者数	人	実績 19	実績 23	目標 23	目標 23
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
事故発生率	通学距離が5km以上あるにもかかわらず、スクールバスが導入されていないので保護者の負担を考慮して設定しました。	%	目標 0 実績 0	目標 0 実績 0	目標 0 実績 0	目標 0 実績 0
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	スクールバス導入が実施されない限り必要である。
有効性	4	スクールバス導入が実施されない限り有効である。
達成度	4	対象者全員に保障されている。
効率性	4	通学距離が5km以上あるにもかかわらず、スクールバスを導入するより経費は節減できている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	H21年度から校区再編によりスクールバス導入が可能になるため、この事業は廃止となる。

進捗状況	年度	委託	工事	事業内容	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容						
					事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
				遠距離通学バス使用料	19	人	2,052	遠距離通学バス使用料	23	人	2,484	遠距離通学バス使用料	22	人	2,376	遠距離通学バス使用料	25	人	2,700	
							(千円) 2,052				(千円) 2,484			(千円) 2,376			(千円) 2,700			
進捗率(%)							事業費計(A) 2,052				事業費計(A) 2,484			事業費計(A) 2,376			事業費計(A) 2,700			
				事業投入人員	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
				フルコスト (A)+(B)			2,772				3,204			3,096			3,420			

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	2,052	2,484	2,376	2,700
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	2,052	2,484	2,376	2,700
	計	2,052	2,484	2,376	2,700
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				